

●11月上映作品について

## 「近藤等則 地球を吹くin Japan」

本日は「近藤等則 地球を吹く in Japan」高知上映会にご参加いただきありがとうございます。チラシをお配りしていますが、近藤さん、この高知上映会をきっかけに、四国ツアーを電撃企画。高知では11月23日にOUTERにてライブが開催されます。「ゴトゴトも参加予定です」、ご都合の付く方はぜひ一緒にしましょう。

自由奔放でぶっ飛んだ発言の多い近藤さんですが、「ゴトゴト前田が一番グツと来たのが、著書『我が闘争』にあったこの一言。

「日曜日にも何もする事がなければ、何もしなければいい」。

当時大学生であった私は、日曜日なんかは若気の至りで昼頃まで寝てしまふこともしばしば。そして後悔もしきり。遥かなる人生の旅路の道程で、こんなありさまで良いのだろうか、何が人生には意義があつて、なすべき事に向かつて、一步一步何かを積み上げていかねばいけないのではないかと妄信し、無意味な時間を過ごす事やとても恐れていたんだと思います。

しかし、師は言いました。「何もなくていい」と。この言葉のおかげで私は様々なものの呪縛から解放されました。これこそが自由だと。近藤さんは、当時からこの国の大多数の人間は、頭の巾着にフロッピーディスクを入れられ、洗脳されたまま動いているロボットみたいなものだと断言していました。彼の言動、音楽は激しくそれらに抗い、ジャンルや国境はおろか、人間と自然の垣根をも超えて展開します。



たまたまた地球に生れ落ちた、たかだか80年くらいこの命。楽しく自由に生き切るより他に、何があるうと言つものぞ。近藤等則をぜひ、ご体験ください。

●今後の上映作品について

## 「天のしずく」

### ～辰日芳子・いのちのスープ～

12月16日@メフィストフェレス  
12月21日@高知県立美術館ホール

## 「世界でいちばん美しい村」

1月13日～14日@メフィストフェレス

お客さんからのリクエストが多く、視聴して上映を決めた「天のしずく」。高知に帰ってくる前、東京の「大地を守る会」という団体でオーガニック関連の仕事をしていたゴトゴト夫婦にとつて、心に染み入る作品でした。上映を決めてから調べてみると、近森病院さんで辰日さんのレシピで作った「いのちのスープ」を患者さんに提供されていることがわかり、以前辰日さんの講演会を行ったパレスホテルさんともども協力いただき、ポスター・チラシなどを掲示させていただいています。また内容に共鳴いただいたスパー・バリューさんにもチラシ・ポスター掲示のご協力をいただいております。皆様ありがとうございます。尚、予約の方が早めに入っていますので、特に16日のメフィストをご希望の方は、お早めにご予約いただけますよう、何卒よろしくお願いいたします。



満点の星が輝くネパール・ラブラック村。

1月は2015年のネパール大地震に見舞われた村のその後を、写真家の石川梵さんが記録した『世界でいちばん美しい村』。写真家さんの撮影した映像だけあって、ワンカットワンカット、息を呑むような美しさが綴られた作品です。ドローンによる空撮を駆使して撮られた「ハニーハンター」による断崖絶壁でのミツバチの採集の映像も、ため息ものです。しかしながら、一番美しいものは石川さんが出会った村人たちの結びつき・心、であることは言うまでもありません。被災地なのに、こちらが学ぶべき「豊かさ」に溢れた生活が描かれています。とても素敵な作品です。ぜひご参加ください。

## gotogoto cinema

上映詳細はチラシ、HP、FBにて

ビデオ全盛になって、家で映画を見ても集中できなくて昔のように楽しくなくなつて、映画から遠のいていたのです。しかも高知にきました。それが、大きなスクリーンで映画を見ると、なんと何か深い息ができる感覚。これは、僕が好きな絵画に出会ったときに感じる感覚と似ているのですが、対面しているとムネにすくすく空気が入つてきて、多幸感といふか多自由感といふか、胸がすくすく、爽快感が持ちこまれるのです。私は、もつそれからは、むさぼるよういろいろな見ましたね。ツタヤの旧作100円だし。妻子がいない夜なんぞ、3本立てとかね。その頃はじめてフェイスブックには、お家でゴトゴトシネマの様子が多数アップされていきました。(「ゴトゴトシネマ」ブログより転載)

●ゴトシネマヒストリー vol.3

## お家で「ゴトゴトシネマ」が始まる。



前回の16mm映写技師免許を取得した工ピソードが2012年のことなので、2014年の土佐山桑尾公民館マンズリー上映会まで、まだ2年くらいあるのですが、その間もゴトゴトシネマは胎動しておりました。いつだかはつきり覚えていないのですが、16mm上映でつかいスクリーンで映画を見るのはやっぱりいいもんだ、と気づいたゴトゴトシネマ・前田。突然スクリーンを自作してしまうんですね。思いついてすぐやってしまったのが良かったと思います。

覚えています。ある飲み会の翌朝、リトルビット2日酔いな感じによるつつ「手作りの楽しさ提案×手芸のコマドリ」に向かったのです。購入したフツは、白い布と黒い布。ネットでノウハウをまなび、なんとなく素材を選びました。それを貼り合わせて作ったのが、約95インチサイズの手作りゴトゴトスクリーン。それでもってプロジェクトクーターも妻の許可を得て購入。音は、家のステレオアンプにつないで、ホームシアターのできあがりです。なんといっても、妻のお父さんから譲り受けたタンノイのスピーカーがあるので、音はクンバツ。スクリーンも初めてにしてはぼつちりで、お家で映画を楽しみ始めました。これが、はまりまくり。